

社説

總理の親任

昨日官中に親任式ありて松方伯いよ... 總理兼大藏大臣の親任式は昨日官中にありて松方伯いよ... 總理兼大藏大臣の親任式は昨日官中にありて松方伯いよ...

總理兼大藏大臣の親任式

久しく決せざりし内閣組織も昨日に至り略ぼ内定したれば松方伯は同日正午時頃参内して何事か種々奏上す

他の大臣の任命は如何

據て報じたる如く西郷侯は留任、樺山伯は内務大臣、大隈伯は外務大臣、高橋子は陸軍大臣と内定し居れば其發表は多分今日中にある可しと云ふ

大隈伯を訪ふ

松方伯は一日午後高橋子を訪ひ暫時協議の後、午後九時頃大隈伯と早稲田に會し昨日午前一時まで密議したり蓋し内閣組織の経過を述べ併せて主人の伯の入閣を求めしならん兩伯の間には兼て意見の相違合するものあり近日の消息も相通せしむとならんと雖も内閣組織の始まりし以來兩伯相會せしは一昨夜が則ち始めてなれば大隈伯にも種々の意見ありて協議の進行難かりし其結局は推察するに難からざる可し

府下浸水後の模様

花に月に秋の七草なを今を盛りの名所に乏しからぬ向隅を平押に押し寄せて本所區をも併せ浸さんとしたる湖流の横行は何處まで氾濫するやらんかと一昨夜來の人心は物々として我田に及ばず水の利害とあれば竹槍にも訴へんする勢中々に浸まじく第一に此水勢を挫か

新任總理松方正義伯



松方正義

る所より... 新任總理松方正義伯... 松方正義伯は昨日官中にありて松方伯いよ... 總理兼大藏大臣の親任式は昨日官中にありて松方伯いよ...

んが爲め隅田の堤防を撤せんとしたるは一昨日の朝にて取敢へず隅田村なる鐵道積貨社の裏手と定め隅田村民に撤去せし處同村民の中には種々の議論を囁くものありたれども東京府廳より出張せし池上氏之を説きし時承服したるに又もや會社附近の人民は之が爲に家屋をも併せて流失さるゝやも測り難しと不平を鳴らすもの續出するに至れり然れども一二の不平者あるため浸水者一同の利害に關する大率を見合はざる能はずとて警備隊の警官等も共に協力し同日午前十一時頃漸く撤去に取掛り午後三時頃には開通せしむる可し

九時過に至りて架橋終り昨朝は三間許りの間敷々として流出する様目覺ましかりしも堤防崩壊を恐るる程なれば十數名の人大は頻りに撤去に従事し居たり之が爲に同所附近の家屋は將に新に建てんとする水勢を減殺し昨日午前零時頃最高度に達したる時より午後一時頃迄に七八寸餘を減じて大に安心したりとなり本所は湖流の押寄来る衝鋒に當るを以て一尺餘を増すべきに餘分なりとも減水せしは隅田村の住民に取て不幸中の幸と云へ茲に同村民の困難は農民の事として小船に乏しきのみか村役員等も不慣の事故救助の方法等に思ひ及ばずものなくよし之ありとするも無一物にて陸揚なく見す、困難者其儘に放棄せんとするを妨げ會社にては傍觀するに忍びずとて折角開場せし業務をも廢止し小舟十餘を買切りて御水に溺れんとする老弱男女を救助し昨日までに四百餘名同會社内に連れ來り尙同會社に關係を有するもの二百餘名を止留せしむる等其努力は茲に止まらずして軒にまで達する程の大水中に炊事の出来べき調はれなければ取敢へず燃費の炊出しを爲し三井家に關する物産、礦山、工業、銀行等の諸會社に助力を仰ぎ昨朝までに二千六百八分昨夕刻又々六百八分と夫々被擲者に配布し或は構内に於て食せしむる等殆ん隅田村附近の損害を一手に引受けて救助の任に當りたるが如く甚だしきは被害の各戸に於て盜難の慮あるより一二名のもの賑當するものへ石油、蠟燭等の心配までも爲さる可からざるものあり然れども附を得て歸る望ひは人情の常なれば彼に厚うして我に薄き等の不平者もあるとならん勿體なきことにもよわれ隅田村現場に於ては今朝より炊出しに従事する等なりとか茲に同村民等の望む所は一昨夜來追々明屋に附け込んで撤去せしむる等管長持等を取り出し夫々目覺しき物品を並み取る水賊追々現はれ出るを以て願はくは水上警察員の乗組める小舟の二三隻も折々同村内を巡覽ありたきものなりと左もあるべきとなり如何に盜心切なればとて此水難に附け込んで物を取らんとするは怪の又難なるものなれども紡績會社の手前より枕橋に至る一帶は往來を留むる許りに人の山を爲して戸板に乘れる赤練の男女若くは首のみ出して我屋の荷物を湖水中の難を面白うに見物し居る紳士の心も亦憐れに憐れしき難なれば是より更に我屋の二階に構橋を掛けて鍋釜等の調理道具より味噌桶までもゴタ交ぜに擲き込んだる其間に構橋を踏みかかし居るもあり常に強風にも吹かれぬ別荘の美人紅の装もあらはに丸裸となりて我衣の濡れたるを乾かすも有り言動顯子は前々人なきも立退人の偶然一方ならず牛の御前も本堂の欄干に時ならぬ機嫌を盡れたるは錦にあらで立退く人の夜具滑溜なりと三國神社の構橋は半ば木に没して心なき子供達の游泳場となれり本所區は將平橋より長崎橋まで無事に防禦し一昨夜十二時より昨日午前二時頃までは水勢稍々激しかりしも昨日に過りて一尺餘り減じたれば別しての氣遣もあるまじく錦結橋の北側は二三尺餘り浸り鐵道會社の停車場は天神川の水溢れて構内に進入せしもの之を喰ひ止めて横川に流し停車場に至る途中三十間許りの深五六寸と浸すのみにて別館なし練路は中川より江

戸川に至る其... 兩方より連... るものになし... 所の小橋の... 救助し今に行... に取調ぶるの... となり